

厳しい寒さが続いており、春が待ち遠しい時期です。家庭教育学級も終盤になり、それぞれの園や学校で工夫を凝らした家庭教育学級が行われました。

## 成東中学校区家庭教育学級 講演会 11/12 成東中学校



給食センターの仕組みと給食ができるまで  
～子どもの成長に必要な栄養について～



成東中学校、成東小学校、大富小学校、なるとうこども園の職員、保護者の方が一堂に介しての講演会となりました。講師は白鳥栄養教諭。今年9月からオープンした山武市学校給食センターの紹介と食育についての講演でした。

給食センターには、最新の設備が整っており、衛生管理にも細心の注意を払って調理されていることがわかりました。また、子どもに必要な栄養についても説明があり、特に、朝ごはんをしっかり食べることの大切さを改めて確認しました。

## 食育・給食試食会 11/27 まつおこども園



0・1・2歳児の保護者を対象とした食育講座と試食会が行われました。栄養士の廣瀬さんからは、幼児のおやつについて、秋葉さんからは、食べ物の好き嫌いについて話がありました。乳幼児の保護者の方々によくある心配事などを丁寧に説明していただきました。その後は、試食会があり、麻婆豆腐をおいしくいただきました。



## 陶芸 11/13 菓子作り 11/19 蓮沼小学校



講師は、音楽家でもあり陶芸家でもある井出さん。5年生親子で「てびねり」という方法で器やランタンなどを作りました。粘土が乾いてひびが入らないように、少しずつ形を整えていきました。自分の好きな釉薬を選んで、あとはできてからのお楽しみになりました。



菓子作りの講師は、井上さん。6年生の親子でコーヒー大福を作りました。コーヒーを練りこんだ餡で生クリームを包み、大福の皮でくるんで出来上がりです。皆さん、満面の笑顔で試食しました「おいしい！」の声があちこちからあがりました。自宅でも作れそうです。



## スマホ・ケータイ安全教室 12/12 大平小学校



対象は3年生～6年生の児童とその保護者。SoftBankの金城さんが講師として来校しました。インターネットに軽い気持ちで迷惑動画をあげることで、犯罪になってしまった事例、ゲームで課金して親のお金を使い込んでしまった事例などを丁寧に解説してくれました。保護者にとっても子どもがスマホを持つことへの注意喚起となりました。



思春期教室 11/21 山武望洋中学校

2年生と保護者を対象に開かれました。講師は城西国際大学看護学部清水教授です。前半は思春期から現れる男女の体の変化についての話。後半は、妊婦体験、赤ちゃん人形のおむつ替えや抱っこ体験、お腹の中にある赤ちゃんの心音を聴く体験をしました。保護者の方々も熱心に参観されていました。最後に、いくつかの質問も出て、生命の誕生に対する理解が深まりました。



3B体操 11/26 しらはたこども園



今回は、ベルとベルターを使っただけの運動をしました。岩間インストラクターの動きを真似しながらのウォームアップは、簡単な様で結構疲れました。ベルを投げたり、子どもを乗せて引っ張ったりと保護者の方も普段よりハードな動きで息が上がっていました。5歳児の子どもたちは、大はしゃぎで喜んで体を動かしていました。

思春期教室 11/26 成東東中学校

「皆さんが生まれてきた確率は70兆分の1なのです。」という渡辺助産師さんの言葉にどよめきがありました。東千葉メディカルセンターに勤務する渡辺さんは、助産師という経験から取り上げた赤ちゃんの話をしてくださいました。その話から、生まれてきた奇跡と、自分を大切に、一生懸命に生きるという事を改めて考えさせられました。

中学生にとって自分がどうやって生まれてきたかを考える貴重な時間になりました。



思春期教室 12/14 松尾小学校



どんとこい！思春期  
松尾小学校の5年生が  
~すてきな大人になるために~



5年生とその保護者を対象に開催されました。講師は清水教授です。小学校の児童にもわかりやすく図や易しい言葉で体の仕組みについての説明がありました。思春期とは体の成長だけでなく心の持ち方も大切であること、お互いの気持ちを大切にすること、自分が言われて嫌な言葉は使わないことなどの話がありました。最後にお互いのいい所を見つけるワークを行い、みんなの笑顔で終わりました。

親力アップいきいき子育て広場 より

(家庭教育情報を共有することで、千葉県の保護者を応援するサイトです。)**【子育て豆知識】** 保護者の悩みとそれに対するアドバイスが載っているので紹介します。

小学生編：「話をちゃんと聞いてくれない」→お母さんは、自分の思うとおりに子どもを動かそうとしていませんか。「まだできないの」「何度言ったらわかるの」注意や叱責、無理な課題を口にしていませんか。できないつらさは自分に置き換えればわかります。少し見方を変えてみて「がんばったね。ここまでできたね。」など肯定や賞賛の言葉を大切にしましょう。親の話に耳を傾けるようになります。

ポイント1 親の思うようにならないのが普通。いらいらしたらますます悪化。

ポイント2 子どもの頑張りに目を向けよう。 —「親力アップいきいき子育て」—で検索できます。